



Open Source CMSへの誘い

第19回WebSig会議「特集！ Open Source CMS」

2008年7月26日土曜日

目次



1. はじめに
2. Open Sourceて何ですか？
3. CMSもいろいろありますね
4. Open Source CMSを用いてサイト構築を行う意味
5. Open Source CMSを導入することのメリット
6. Open Source CMSを導入することのデメリット
7. コミュニティに参加するということ
8. Open Source CMSに貢献するのは開発だけじゃない
9. 今回のCMSのチョイスの理由（わけ）

はじめに Vol.1



一般論ですが...

- ユーザーが増えればビジネスは活性化し、
関わる人たちに、競争意識が芽生え
モノ作りの人たちのスキルは上がる
- 関わる人たちのスキルが上がれば、
地位は向上し、収入は増えて幸せになれる。

はじめに Vol.2



その意味で

- Open Source CMSの積極的導入は...
- ユーザーに幸せをもらし
- Web屋さんに幸せをもたらし
- サポーターに幸せをもたらし
- もちろん。
- 開発者に幸せをもたらす。

はじめに Vol.3



結論

- ユーザーが増えれば...
- Open Source CMSの世界はおもしろくなる。
- Open Source CMSの世界を少し覗いてみませんか？という今回の企画。
- 何かを感じたら、積極的に参加してみましよう。
- あなたのために、世の中のために。

Open Sourceで何？ Vol.1



- ソフトウェアに対する定義。
- 無償のソフト（※）ではなく、自由なソフトだと考えています。
- そして定義にすぎません。

Open Sourceで何？ Vol.2



一般的に以下の定義が含まれます。

1. 自由な再頒布ができること
2. ソースコードを入手できること
3. 派生物が存在でき、派生物に同じライセンスを適用できること
4. 差分情報の配布を認める場合には、同一性の保持を要求してもかまわない
5. 個人やグループを差別しないこと
6. 適用領域に基づいた差別をしないこと
7. 再配布において追加ライセンスを必要としないこと
8. 特定製品に依存しないこと
9. 同じ媒体で配布される他のソフトウェアを制限しないこと
10. 技術的な中立を保っていること



また、自由であるゆえに無保証です

- 利用者は構築にあたり、自己責任で利用するということを念頭におくべきです
- オープンソースにはさらに「ライセンス」が存在しております
- 利用にあたっては、個々のライセンスに基づきご利用ください

CMSもいろいろありますね Vol.1



- CMSとはもちろん、コンテンツマネージメントシステム(Content Management System)の略です。
- 狭義であれば、汎用CMSの事を差しますが、今回のWebSig会議では広義の意味でCMS全般を捉えています。

CMSもいろいろありますね Vol.2



一般的に

- 汎用CMS
 - Eコマース
 - ブログ
 - ウィキ
 - ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)
- 等の種類があります。**

得手不得手がありますので、適材適所で使ってください。

Open Source CMSを 導入することのメリット



ひと言で語るのはむずかしいですが...

- 多くは無償であり、スキルがあれば資金がなくても導入できる。

※これをメインにすると発展性がないという注意書き付

- **欲しい機能を自由に追加できる**
 - **既存ライブラリの流用ができる**
- その他（ご自分で発見してください）

Open Source CMSを 導入することのデメリット



多くはリテラシーの問題

- デメリットとを感じるかどうかは、個々の問題であり、一概には言えない
- 紙を見て決済を行う人たちを説得しにくい
#いつまで続くのやら(^^;
- 技術的サポートが無いというのは大きな誤解
- セキュリティが甘いというものの大きな誤解
- 利用者にとっては多分にリテラシーを要求する
- 再配布する場合はソースを公開しなければならない

Open Source CMSを 使ってサイト構築をおこなう意味



得られるものは、スキルアップと、個別化 そして幅広い人脈、語学力の向上

- 書籍だけでは得られない知識が必要になる→情報収集に
どん欲になる→知識が増える
- 当然技術だって必要だ→スキルアップ
- 選択肢が広がる→個別化
- 情報交流が必要コミュニティ参加→人脈が広がる
- CMSによっては英語は必須→語学力アップ

コミュニティに参加すること



- 個人だけでは時間がかかる技術が速やかに得られる
- 技術交流を通じて人脈も広がる
- オフラインミーティングに参加すればさらに親しくなれ仕事につながることも
- コミットすれば広告効果大
- 視野が広がる←重要

参加しなきゃわからない、まずは参加してみよう。

技術開発だけが貢献じゃない。



一般的に技術開発だけが貢献と考えられがち
でも、それは大きな誤解

- 翻訳する人だって必要だ
 - 布教してくれる人だって必要だ
 - 本やWebで解説してくれる人だって必要だ
 - フォーラムで質問に答えてくれる人だって必要だ
 - Open Source CMSはいろんな人に支えられている
- 技術開発できなくても、
出来ることで、貢献してみよう。

今回のCMSのチョイスの理由（わけ）



ひと言でOpen Souceといってもいろんな形があります。
選択理由は...

- 敷居が低く、ノンプログラマーでもWeb構築できること
- 開発者＝ユーザーという閉鎖的でないこと
- 運営者が明確であること
- ゲストスピーカーのブログがおもしろかったこと

そんな意味で

- Open PNE
- EC-CUBE
- MODx

を選んでみました。

※さらにオープンマイク枠ではSOY CMSについてお話しただけです。

ありがとうございました。



**後で懇親会で語りましょう。
休憩時間に気軽に声をかけてください。**

**この後は、株式会社手嶋屋の手嶋さんが、
Open PNEについて語ってくれます。**

大いに期待してください。